

2011年度

科目名	教育実習Ⅱ(保健体育)(高のみ免許希望者)				
担当教員	宮内 一三				
配当	人社4		コード	80266	
開期	集中通年	講時	集中0限	単位数	2
授業テーマ	中学校・高等学校での意義や実践と教職への一体感の形成について				
目的と概要	教育実習は大学における教育職員養成過程の基礎として、中・高等学校の教育現場に臨み、直接的・体験的に実施する課業である。本講座では教育実習を事前・実施・事後のまともに位置づけ、教員を志すものとして自らの生き方と重ね合わせ、その資質能力を高めるとともに教職への一体感を培う。従って、教育実習大学で学んだ教職課程(保健体育)を踏まえ、実践(教育実習)に取り組む心構えや内容を理解する。				
成績評価法	授業後のレポート(50%) ②教育実習終了報告書・実習校評価(30%) ③授業態度(20%)などを参考に総合的に判断します。				
テキスト	「子どもがつながる学級集団づくり入門」 新保真紀子著 明治図書				
参考書					
履修に当たっての注意・助言/準備学習	①授業の開講日に注意 ②教育実習の手続きを確実に ③「実習後報告書」の提出 ④授業は2名の教員で実施				
講義計画					
第1回	教職課程・教育実習の意義を理解する。				
第2回	実地研究の観点や授業指導の心得等々について理解を深める。				
第3回	実地研究の観点や学習指導案作成等々について理解を深める。 実習手続きの指導(教務課)				
第4回	人権教育の課題と指導のあり方について理解を深める。				
第5回	教育実習の現場(中学校・高等学校)を理解する。				
第6回	緊急(事故)時の対処法				
第7回	学習指導案・実習日誌の書き方				
第8回	実習日誌と実習終了報告書の作成				
<教育実習> *実習校への挨拶・打ち合わせ訪問(各自) ※後期実習生は一ヶ月前 *中学校または高等学校校の教育実習(専任教員による訪問指導) *実習終了報告書の提出					
第9講	実地研究のまとめ・発表と講評指導。				
第10回	実習の体験をもとに自己の目指す教師像の確立				